

第38期第19回理事会議事録

日 時：2016年2月22日（月）13時30分～17時50分
会 場：ちよだプラットフォームスクウェア 会議
室506

出席理事：新野 宏，藤谷徳之助，岩崎俊樹，近藤
豊，竹内綾子，竹見哲也，田中 博，中島映至*，
中村健治，藤部文昭，三上正男，山田和孝，以上
12名

Web会議システムを通じた出席理事：榎本 剛**，塩
谷雅人，余田成男*，以上3名

*：議題5の途中から出席

**：議題5の途中から欠席

（理事現在数20名）

出席監事：高谷康太郎，以上1名

その他の出席者：下道，渡辺，志村（事務局）

議 題

1. 第38期第18回理事会議事録の確認

2. 会員の新規加入等について

新入会11，退会7を全会一致で承認した。2016
年2月18日現在，会員数3,477名で個人会員は3,229
名。

3. 2016年度事業計画案，収支予算案について

2016年度の事業計画案及び収支予算案について
検討を行った。事業計画案，収支予算案いずれも
全会一致で承認した。

4. 風工学シンポジウム論文集の名称変更について

論文集の名称の変更について，気象学会を含む
共催学会での審議・承認の依頼があった。名称の
変更に対し強い反対はなかった。

5. 各委員会からの報告

庶務…

1) 転載許可

①申請者：千木良雅弘

転載元：岡田憲治他，2001；土壤雨量指数，
天気，48，349-356の第5図

転載先：「大自然に学ぶ 地質と災害-応用
地質の見方・考え方」（仮題）千木良雅
弘著，2016年3月近未来社出版予定

②申請者：丸善出版（株）

転載元：①図3枚，Kurosaki, Y. et al.
2005, J. Meteor. Soc. Japan, Vol. 83A

②図1枚，Kurosaki, Y. et al.

2011, SOLA, Vol. 7

③図1枚，Ishizuka, M. et al.

2012, SOLA, Vol. 8

④図3枚，Tian, S. F. et al.

2007, SOLA, Vol. 3

⑤図1枚，Kimura, R.

2012, SOLA, Vol. 8

転載先：「黄砂-健康・生活環境への影響
と対策（仮題）」、黒崎泰典他編、2016
年3月、丸善出版発行予定

③申請者：佐藤典人

転載元：①岡田他，2014，天気，61巻1号，
23-29 の論文の欧文要旨

②紺野他，2015，天気，62巻2号，
97-103 の論文の欧文要旨

③中井専人，2015，天気，62巻3
号，187-199 の論文の欧文要旨

④渡辺他，2015，天気，62巻3号，
201-208 の論文の欧文要旨

⑤志藤ほか，2015，天気，62巻5
号，403-409 の論文の欧文要旨

転載先：Japanese Progress in Climatology,
気候談話会（法政大学文学部地理学教室），
2015年度刊行予定

2) 後援名義等使用依頼受付

①名称：第21回計算工学講演会

主催：一般社団法人 日本計算工学会

期日：2016年5月31日～6月2日

場所：朱鷺メッセ；新潟コンベンションセンター

名義：協賛

②名称：第44回可視化情報シンポジウム

主催：一般社団法人可視化情報学会

期日：2016年7月19日、20日

場所：工学院大学（新宿キャンパス）

名義：協賛

③名称：講演会「海をはかるー海洋観測と私たちの暮らしー」

主催：東北大学理学研究科 東北大学災害科学国際研究所

期日：2016年3月26日

場所：東北大学大学院理学研究科 青葉サイエンスホール

名義：後援

④名称：原子力総合シンポジウム2016-福島第一原発事故から5年

主催：日本学術会議 総合工学委員会

期日：2016年3月16日

場所：日本学術会議講堂

名義：共催

⑤名称：第33回エアロゾル科学・技術研究討論会

主催：日本エアロゾル学会

期日：2016年8月31日～9月2日

場所：大阪府立大学

名義：共催

3) 第39期役員選挙管理委員会

①1月29日 投票用紙発送開始。3月1日投票締切。

会計…2016年1月分の収支及び現預金検査報告及び2015年秋季大会の決算報告。

企画調整…担当理事によって作成された第4回支部長会議の会議資料が示され、特に大会の運営に関する改善案及び学会運営の中期課題についてとりまとめた資料について検討を

行った。また、第2回評議員会への対処案についても検討を行った。2014年度の会員からの寄付金の取扱いについて、公益認定等委員会事務局の指示に基づき、研究の支援・表彰を行う資金として、2015年度に指定正味財産に組み込むことが報告された。

天気…以下の報告があった。

・Vol. 63 No. 2(2016年2月号)の掲載記事と、Vol. 63 No. 3, 4, 5(2016年3, 4, 5月号)の予定記事。

・研究を本務とする機関に所属しない投稿者からの掲載料免除申請を2件承認したことが報告された。

気象集誌…審査中の論文リストの報告、2016年の科研費の計画案の報告。

SOLA…2016年の投稿論文数が16編、出版済みの論文数が3編であることが報告された。また、ACM (Asian Conference of Meteorology) 2015特集号について、締め切りの延長を検討していることが報告された。

各賞…学会賞の候補者の推薦について、学会賞候補者推薦委員会より候補者が提示され、推薦理由についてチェックを行った。今後、全理事の投票を経て受賞者を決定する。

学術…日本地球惑星科学連合 (JpGU) のユニオンセッションに、「航空機観測」で応募したことが報告された。

気象災害…2016年度連合大会のユニオンセッションへの対応として、気象学会からの講演を、「過去の線状降水帯による集中豪雨事例にみられた予測と防災情報の課題」(気象研加藤氏)とすることが報告された。また、防災学術連携体の今後の予定等について関係理事から報告が行われた。

教育と普及…公開気象講演会及びジュニアセッションの参加者に事前登録が必要であると春季大会実行委員会から連絡があったことが

報告された。また、サイエンスカフェがBiVi
つくばで開催されたことが報告された。

電子情報…会員向けウェブサービスの検討準備状
況に関する報告があった。

6. 日本地球惑星科学連合（JpGU）からの寄付の依
頼状

JpGUから、公益事業の推進を目的として、会員
に向けた寄付のお願いがあったことが報告され
た。

平成28年 3月 22日

公益社団法人日本気象学会

理事長 新野 宏

監 事 高谷康太郎